

映画：宇宙円盤大戦争

1975年

『宇宙円盤大戦争』（うちゅうえんばんだいせんそう 英文：Great Battles Of Flying Saucer）は、1975年7月26日に東映まんがまつりの一編として公開された東映動画製作の劇場用ロボットアニメ。30分。同年10月から放送が始まったテレビアニメ『UFOロボ グレンダイザー』のパイロット版的内容であり、『グレンダイザー』第72話は本作のストーリーのリメイクとなっている。

【ストーリー】

ヤーバン帝国に故郷・フリード星を滅ぼされたデューク・フリード王子は敵の追撃を逃れて地球にたどりつき、宇門大介を名乗って平和に暮らしていた。しかし、捜索の魔の手はついに地球にも及び、その身柄引き渡しを要求して地球各地に攻撃の手が伸びる。デュークは元の姿に戻れば、もう宇門大介に戻れない事を承知で地球を護るため、UFOロボ・ガッタイガーに乗り込んでヤーバン軍に立ち向かう。

【ガッタイガー】

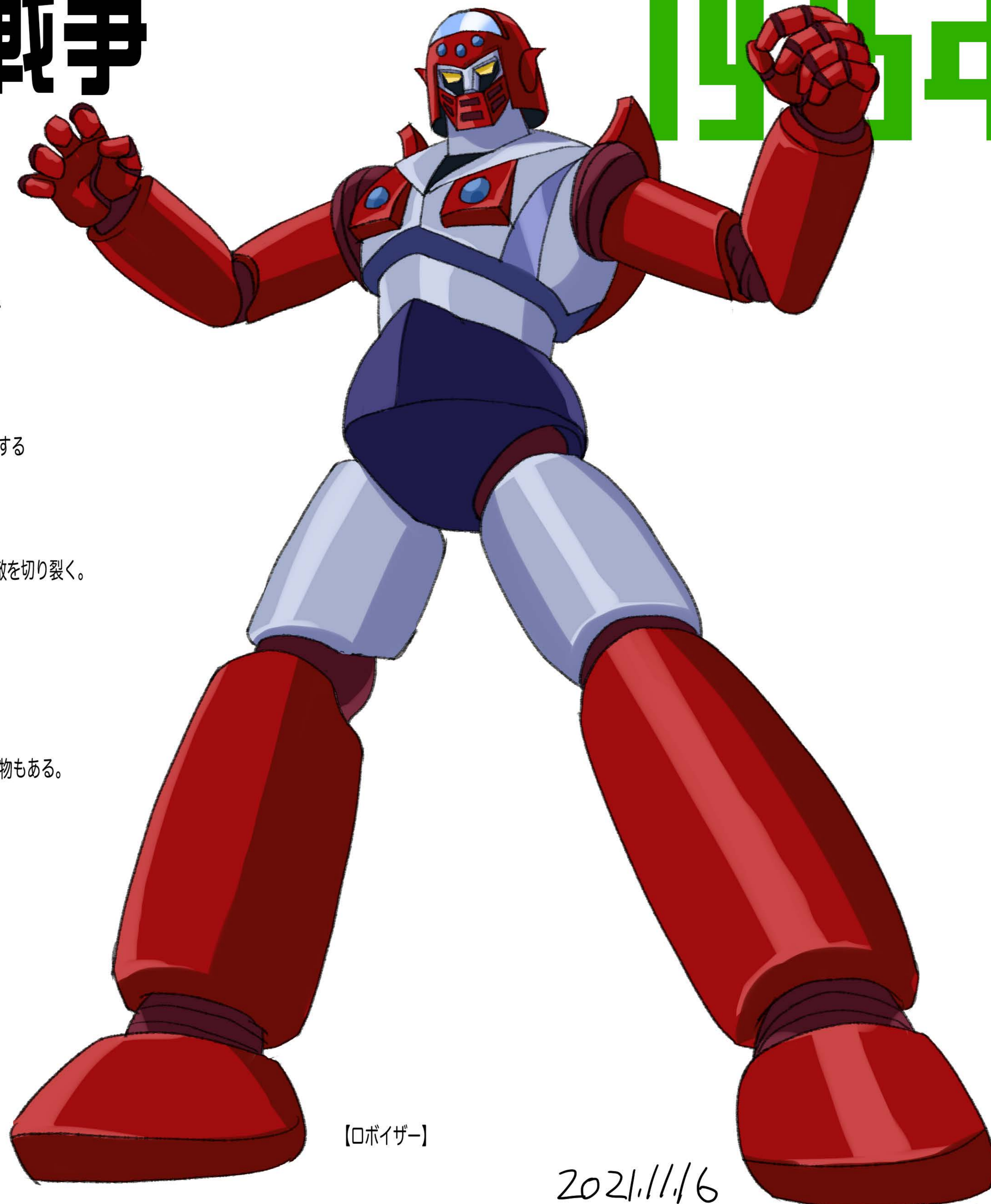
円盤型メカ・スペイザーに巨大ロボット・ロボイザーが合体してガッタイガーとなる。円盤とロボットが合体するというコンセプトは後の「グレンダイザー」と同様だが、デザインは異なる。合体コードは「ギャザー、ガッタイガー!」。ロボイザーを分離する時のコードは、「ブレイクアップ、ロボイザー!」。ガッタイガーには、次の4大装備がある。なお、ロボイザーの武器の有無は不明。

- 1 ニードルシャワー 機体上部から針状の光線を発射して、敵を貫く。☒
- 2 スパイクスピン 機首（ロボイザーの腕）を引っ込め、周囲から鋸を出し、回転しながら体当たりして敵を切り裂く。
- 3 スペースサンダー 正面上部の左右3門（計6門）の発射口から発射する、破壊光線。☒
- 4 サンダーフォーカス 両方3門から発射されたスペースサンダーを1つに集め、破壊力を増す。

【スタッフ】

- ・ 企画 - 有賀健、勝田稔男
- ・ 原案 - サークル・バーン
東映系でよく用いられた八手三郎などと同様、プロデューサー集団の擬人ペンネームとのこと。「円盤」をもじって「サークル・バーン」と直訳している。ただし、鳥海尽三の偽名であると書かれた書物もある。
- ・ 原作 - 永井豪、ダイナミック・プロ
- ・ 脚本 - 上原正三
- ・ 演出 - 芹川有吾
- ・ 美術設定 - 辻忠直
- ・ 作画監督 - 飯野皓

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』



【ロボイザー】

2021.11.16

1975年 映画：宇宙円盤大戦争



【牧野ひかる】声 - 松島みのり
デュークが宇門大介として身を寄せている
牧野牧場の娘。デュークとの関係が疑われた
テロンナによって、拉致されかけた。

2021.11.16

<https://majingai.x.fc2.com>

【デューク・フリード / 宇門大介】声 - ささきいさお
フリード星の王子。ガットイガーの操縦者。ヤーバン大王軍に故郷・フリード星を滅ぼされ、傷つき地球に逃げ延び、宇門源蔵に保護され、源蔵の息子「宇門大介」として暮らしている。当初、フリード星人ではなく地球人として暮らしたいがため、そして、テロンナと争いたくないのを理由に王子となって戦うのを拒絶していた。また、常人ではなく、テレパシーを使える超能力者でもある。

【ブラッキー隊長】声 - 内海賢二
王女テロンナの側近。ひげ面、スキンヘッドの大男。デューク搜索のついでに、地球そのものを侵略してしまえと唱えて実行する武闘派。
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



【王女テロンナ】声 - 小原乃梨子
ヤーバン大王の娘にして、デュークと共に育った幼馴染み。かつての恋人でもある。デューク探索部隊の総司令官。姿はロングの金髪縦ロールで、アイシャドウが濃い。デュークから贈られた宝玉を連ねたチェーン状の髪飾りを身に付けている。ボディガード兼ペットのマシンパンサーを連れ、専用円盤テロンバーンに乗る。デューク同様、衛星軌道から地球全体にテレパシーによるメッセージを発信可能な、凄まじく強力なエスパーである。